

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立初芝体育館、初芝野球場、初芝テニスコート、初芝駐車場、白鷺野球場、白鷺運動広場	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ (美津濃株式会社、公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団、大林ファシリティーズ株式会社大阪支店)	
(5) 指定期間	
平成28年4月1日から令和3年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の收受、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、ニュースポーツ用具の貸し出し、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収)施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応)自主事業(スポーツ教室の企画及び実施、トレーニング講習の実施、その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業)その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議、公衆電話の管理)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	年配の利用者も多いため、堺市スポーツ施設情報システム(オーパス)の利用等に対して、説明等不便がないように対応した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設各所に消毒液を配置、スタッフによる毎日2回の消毒を実施した。年2回の防災訓練、年1回の救急救命講習をスタッフ全員が受講した。個人情報については、堺市個人情報保護条例の規定を遵守し、適切な事務処理を行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	利用状況やイベント開催に応じて適切に人員を配置した。1人の職員が複数の業務を兼任することで、無駄なく効率的な管理運営を行った。また、利用者に平等・公平なサービスを提供できるよう、接遇研修や人権研修等を実施した。利用者が安全・安心に利用できるように、日常警備、清掃を実施した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	シニアから幼児まで幅広い世代に対応したスクールやイベントを数多く展開し、スポーツに親しむ機会を作り、スポーツ及びレクリエーションの振興や市民同士の交流等を促進した。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止やスクールが休講になったが、その中でも、できる限りの感染症対策を実施しキッズヘキサスロンを実施した。

イ 市による状況分析

幅広い年齢層にスポーツを楽しんでいただけるような教室プログラムを展開し、スポーツ振興に寄与した。研修や救急救命講習受講による、職員の接遇能力の向上や知識の吸収により、利用者の安全確保及び利用者からの苦情要望件数の減少に努めた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	初芝スポーツチャレンジパートナーズ
利用者数(単位:人)	277,243	245,409	265,927	161,375	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	95.0	98.0	98.0	98.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	子どもから年配者まで気軽に参加できる教室を、感染対策を実施した上で実施した。また、スポーツ品の販売を実施し、利用者の利便性の向上を図った。障害者の方も快適に利用できるように、介助犬入館可や耳マーク等をわかりやすく表示した。
意見・苦情・要望等への対応	事故に対しては、救急車要請など迅速かつ適切に対応し、危機管理マニュアルをスタッフ間で共有した。また、利用者や近隣住民とのコミュニケーションを大事にし、要望等に対し適切に対応した。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染症対策を徹底し、教室やイベントを開催した。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は過年度と比較し減少したが、障害者の方も安心して利用いただけるような案内表示や新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、利用者の要望にも適切に対応しており、高水準の利用者満足度を維持できた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	ミズノ・堺市教育スポーツ振興事業団グループ	初芝スポーツチャレンジパートナーズ
収入	指定管理料	52,018,618	52,207,000	52,690,398	57,880,819	52,800,000
	利用料金	48,760,560	46,577,930	47,544,830	37,012,330	44,660,000
	負担金	—	—	—	—	—
	その他	2,587,250	3,054,307	861,735	361,173	870,000
合計		103,366,428	101,839,237	101,096,963	95,254,322	98,330,000
支出	人件費	41,174,377	41,425,238	41,895,559	43,449,457	41,000,000
	委託料	20,029,971	23,374,491	22,995,875	18,730,839	20,500,000
	総支出額に占める委託料の割合	20.3%	23.2%	23.3%	19.3%	20.8%
	修繕費	4,111,618	4,623,532	4,340,186	4,376,649	5,000,000
	光熱水費	16,381,317	16,508,233	16,087,371	15,147,995	14,250,000
	その他	16,833,820	14,673,546	13,519,345	15,098,390	17,580,000
合計		98,531,103	100,605,040	98,838,336	96,803,330	98,330,000
収支差額		4,835,325	1,234,197	2,258,627	-1,549,008	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収入		34,629,539	31,214,592	31,534,121	19,689,005	27,463,530
支出		32,048,399	28,165,595	33,936,045	22,383,676	26,606,095
収支差額		2,581,140	3,048,997	-2,401,924	-2,694,671	857,435
(市への納付金の額)		36,000	48,000	48,000	48,000	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症まん延による緊急事態宣言等で、第1四半期4月5月・第3四半期・第4四半期1月2月の臨時休館・時短営業に伴う利用キャンセル等が利用料金収入に大きな影響を与えた。支出については、臨時休館・時短営業に伴い必要経費の削減を行ったが、収支差額は約155万円のマイナスとなった。 指定管理料には、市の休館等指示で還付した令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った4,710,003円を含む。
------------	--

ウ 市による状況分析

市からの休館及び開館時間の短縮の指示により、利用者数が前年度の約61%、利用料金収入が約78%となり、指定管理料を約4,710千円増額してもなお、収支差額がマイナスとなった。休館や開館時間の短縮により委託費や光熱水費が減少し、支出が抑制された。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度 年4回、アンケート調査及びモニタリングを行い、①職員の適切な接客対応、②施設・設備等の安全確保の徹底、③利用者ニーズに基づく事業実施、④苦情の適切・迅速な対応の項目における満足及びやや満足の回答合計	80%を超えること	98.0%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数 体育館・野球場・テニスコートにおける平日の利用率向上に取り組みながら令和2年度の施設利用者を平成26年度比5%増 (平成26年度 延べ280,787人/年)	294,827人	161,375人
スポーツ教室事業参加者数 令和2年度において平成26年度比5%増 (平成26年度 延べ25,892人/年)	27,187人	15,177人

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	50,000,000円以上	37,012,330円

イ 市による状況分析

- ・利用者とのコミュニケーションを大切にされた接客により、利用者満足度は高水準を維持し、目標水準を達成した。
- ・市からの指示による施設の休館が約2か月、開館時間の短縮が約1か月半生じ、また度重なる外出自粛要請の影響による利用キャンセルを受け、特に第1体育室やトレーニング室の利用減少により、利用者数や利用料金収入は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や時短営業となり大会・主催イベントなどが実施できず、各教室に関しても中止となったため利用料金や教室参加費などが大幅に減少した。代表・構成・協力企業各本社とのリスク管理を徹底し、また市内関連施設とも連携を強化したため昨年度末から継続して混乱なく対応できた。	新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮により、利用者数や利用料金収入の目標は未達となったが、接客研修の実施や新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、また施設の維持管理を適切に行っていることにより、利用者満足度は高水準を維持できている。
今後の取組	引き続き、「With コロナ」の新しい生活様式を意識し、感染症対策を行ったうえで管理運営していくように努める。感染症対策を講じ、利用者ニーズの把握、教室講師との連絡調整、教室PRなど積極的に行い、地域のスポーツ振興に協力していく。	引き続き、利用者アンケートや利用者からの意見を大切に、利用者ニーズを把握し、高水準の利用者満足度の維持を図りたい。また、日常の施設点検、清掃等の維持管理をきめ細やかに実施し、施設の長寿命化に努められたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

初芝体育館等 稼働率

※弓道場、トレーニング室、研修室を除く

(単位：％)

施設名	室名	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
初芝体育館	第一体育室	平日	92.4	90.9	91.7	82.2
		土日祝	99.3	97.7	96.6	94.6
		計	95.1	93.6	93.6	86.9
	第二体育室	平日	92.9	87.9	93.2	79.1
		土日祝	87.8	83.2	80.9	71.0
		計	91.1	86.2	88.5	76.1
	第三体育室	平日	53.0	52.2	50.9	34.2
		土日祝	67.5	73.5	67.4	49.9
		計	58.0	59.7	56.9	39.6
初芝野球場	平日	10.0	10.9	11.4	5.9	
	土日祝	71.2	74.1	67.8	69.7	
	計	29.3	30.6	29.9	24.6	
白鷺公園野球場	平日	27.9	23.8	20.8	15.2	
	土日祝	86.0	89.2	87.0	83.7	
	計	46.1	44.7	42.7	35.2	
初芝テニスコート	平日	63.6	61.5	60.1	55.4	
	土日祝	96.2	97.4	97.8	94.0	
	計	74.6	73.7	73.3	67.4	
白鷺公園運動広場	平日	67.7	64.4	63.0	68.0	
	土日祝	95.6	92.7	90.7	91.8	
	計	76.3	73.3	72.5	75.2	